

# にいがた創業応援団の運用状況

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)  
追加型投信／内外／資産複合

2021年4月30日

- リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)は4月26日に第3期決算を迎え、分配金200円(税引前)をお支払いした後の第3期末の基準価額は**10,103円**となりました。
- 分配金200円(同)を含めた**第3期中の値上がり額は961円**となりました。
- 米国株式やリートなどの投資比率を引き上げたことが、基準価額の上昇に寄与しました。

## 【第3期のパフォーマンス】

当ファンドは、第2期末(2020年10月26日)から第3期末(2021年4月26日)までに、**分配金200円(税引前)**を含めて**961円**上昇し、**基準価額が10,103円(分配落ち後)**となりました。

この間、**組み入れている4資産の価格がすべて上昇**しました。4資産の中では**米国の株式やリートが基準価額の上昇に大きく寄与**しました。

米国の大統領選挙の結果を受けて政治リスクが後退したことに加えて、追加経済対策と新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を受けて、リスク選好姿勢が強まったことなどから、米国の株式市場は大きく上昇しました。

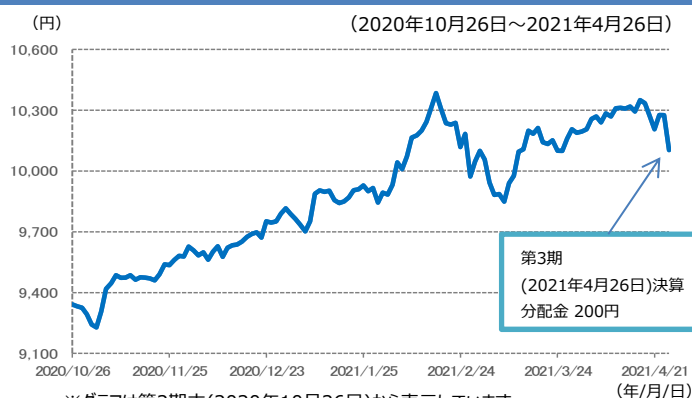
また、日本株対比での割安感や、分配金利回りに着目した資金の流入、主要指数でのリート構成比率の引き上げなどを背景に、リート市場も大きく上昇する展開となりました。

## 【資産別構成比の推移】

当ファンドは、推計した市場リスクの水準に応じて、ポートフォリオ全体のボラティリティが概ね年率7%程度となるように4資産の組入比率を調整する運用を行っています。

第3期初から2020年12月中旬にかけては、**値動きの小さい日系外債の組入比率を段階的に引き下げた一方、他の3資産の組入比率を引き上げました**。その後2021年3月中旬までは、4資産の比率を概ね横ばいで推移させました。これまでの期間において、**組入比率を引き上げた日米の株式やリートの価格が上昇したことから、当ファンドの基準価額の上昇に寄与**しました。3月中旬以降は、市場推計リスクが上昇したことから、日系外債の組入比率を引き上げましたが、4月中旬以降は、リスクの低下に伴い、日系外債の組入比率を再度引き下げました。

## 基準価額の推移と変動要因



※グラフは第2期末(2020年10月26日)から表示しています。  
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

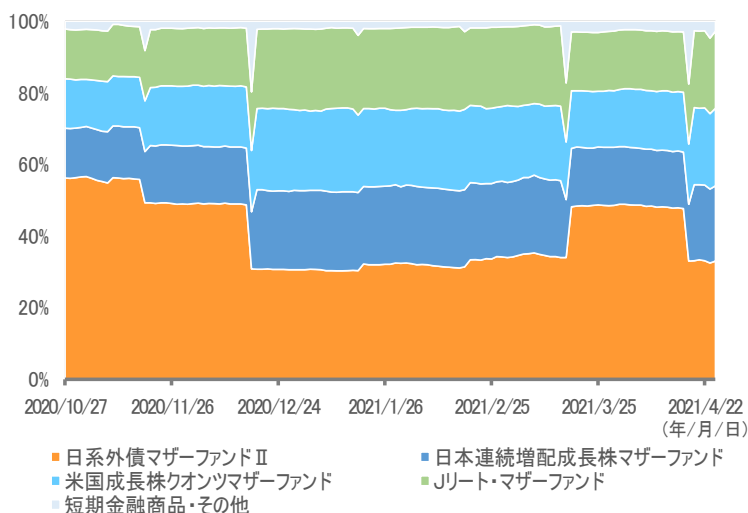
(2020年10月27日～2021年4月26日)

日本連続増配成長株マザーファンド	米国成長株クオンツマザーファンド	Jリート・マザーファンド	日系外債マザーファンドⅡ	その他	分配金(税引前)	信託報酬等
91円	407円	479円	154円	▲102円	▲200円	▲68円

※各投資対象ファンド、分配金、信託報酬等に分けて1万口当たりで表示したものです。簡便法により試算した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。また、円未満四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。※その他は、主として為替ヘッジに伴う損益です。

## 各資産の組入比率の推移

(2020年10月27日～2021年4月26日 日次)



■ 日系外債マザーファンドⅡ  
■ 日本連続増配成長株マザーファンド  
■ 米国成長株クオンツマザーファンド  
■ Jリート・マザーファンド  
■ 短期金融商品・その他

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■ 本資料は、「リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)  
追加型投信／内外／資産複合

【各市場の今後の見通しと当面の運用方針】

**国内株式市場は、上値の重い展開を想定しています。**マクロ経済は回復傾向にあるものの、株価指標面での割安感が乏しくなっていることや、他の先進国に比べワクチンの接種が遅れていることなどから、相場の上値は重い中で銘柄間の選別が進むと考えています。一方、昨年来の外国人投資家の売買代金は累計で売り越しとなっており、需給面から株式市場が大きく崩れるリスクは限定的であると考えています。

日本連続増配成長株マザーファンドでは、新型コロナウイルスの影響が相対的に大きく、反動増が見込まれる銘柄の組入比率の引き上げなどを行っていく方針です。

**米国株式市場は、一進一退の展開になると予想しています。**短期的には長期金利の上昇への警戒感や増税に対する懸念が株価の上値を抑える要因になると考えています。一方、景気刺激策やインフラ支出が拡大するとの期待に加えて、2021年1-3月期の企業決算の発表が本格化する中、企業業績に対する期待の高まりが株価の上昇要因になると見込まれます。

米国成長株クオンツマザーファンドでは、米国の大型・中型株式の中から、定量基準によって成長性が高いと判断される銘柄への投資を行っていく方針です。

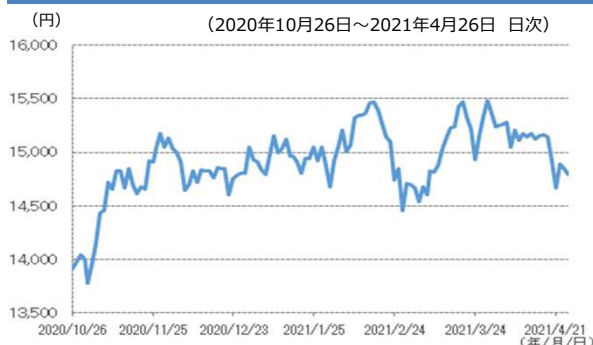
**リート市場は、堅調に推移すると考えています。**短期的には新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が上値を抑える場面があると見ています。しかし、業績面では各リートが発表している予想分配金に底堅さが見られることや、需給面では投資家の利回り追求によるリートへの資金流入が期待されることが相場を下支えすると考えています。

リート・マザーファンドでは、当面は、投資口価格の割安感が強いと考えられる銘柄や、物件取得などを通じて成長が期待できる銘柄などを東証の時価総額構成比に対してオーバーウェイトとする方針です。一方、投資口価格の割安感が乏しいと考えられる銘柄などは、アンダーウェイトとする方針です。

**欧米主要国の債券市場は、徐々に安定した動きになると予想しています。**各国の経済は2021年に急回復する見通しですが、財政政策などによる押し上げ効果が剥落する2022年以降、回復ペースは鈍ると考えられます。このため、今後は市場が将来の成長鈍化を織り込む中で、利回りの上昇圧力が弱まると見込んでいます。また、各国の中央銀行が金融緩和政策の縮小を慎重に進めると見られることも、利回りの上昇を抑制すると考えています。**スプレッド(国債と日系外債の利回り差)は、概ね横這いになると予想しています。**

日系外債マザーファンドⅡでは、ポートフォリオの利回り水準を高め維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。

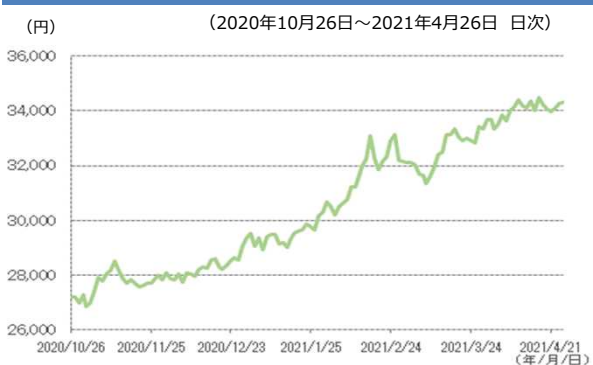
日本連続増配成長株マザーファンド 基準価額の推移



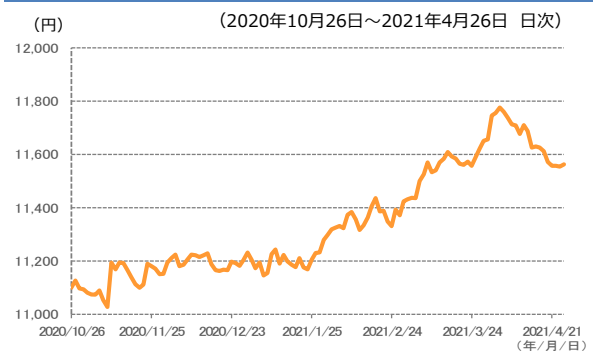
米国成長株クオンツマザーファンド 基準価額の推移



リート・マザーファンド 基準価額の推移



日系外債マザーファンドⅡ 基準価額の推移



※基準価額は1万円当たりです。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)  
追加型投信／内外／資産複合**
**【当面の運用方針】**

2021年の3月には、米国の景気回復期待の高まりやインフレが加速するとの見方が強まり、米長期金利が上昇する中、市場リスクは上昇しました。今後については、国内で緊急事態宣言が再発出されたほか、世界的にも新型コロナウイルスの変異株による感染拡大への警戒などから、一時的に推計市場リスクが上昇することも予想されます。しかし、ワクチンの普及や財政・金融政策が下支え要因となり、推計市場リスクは現状の水準に落ち着くと考えています。

引き続き、市場のリスク水準をモニターし、ポートフォリオ全体のボラティリティが概ね年率7%程度となるように4資産の組入比率を調整する運用を行ってまいります。

**ファンドの状況【分配金・設定来の騰落・各資産の組入比率】**
**2021年4月26日現在**

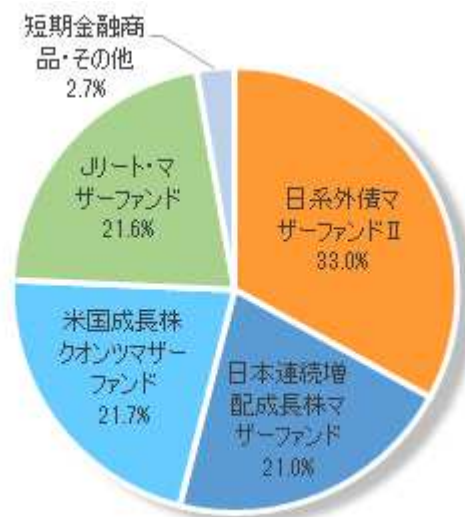
<b>基準価額</b>	10,103 円
<b>純資産総額</b>	29.0 億円

※基準価額は、1万口当たりです。

騰落率		設定来
分配金再投資基準価額		3.03%
資産	指数	
日本株式	東証株価指数(TOPIX)	15.14%
米国株式	MSCI USA指数(円換算後)	38.87%
J-REIT	東証REIT指数(配当込み)	▲2.71%
海外債券	FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPY	4.57%

最近5期の分配金推移	
2020/4/24	0円
2020/10/26	0円
2021/4/26	200円
<b>設定来合計</b>	<b>200円</b>

※分配金再投資基準価額とは、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。  
 ※MSCI USA指数とはMSCI Inc.が算出する株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。  
 またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 ※FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。  
 同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。  
 ※国内指数の設定来騰落率は、設定日前営業日の終値との比較です。  
 ※外国指数の騰落率は、当該日前営業日の現地終値を基に算出しております。  
 ※騰落率は、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメントが算出しております。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
 ※比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：運用本部)

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)  
追加型投信／内外／資産複合

リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式、米国の株式、米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券、国内の不動産投資信託証券等の値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、米国の株式については、為替相場の変動により損失を被ることがあります。米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券については、原則として為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「不動産投資信託リスク(価格変動リスク・分配金(配当金)減少リスク)」「劣後債のリスク」があります。その他の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)があります。
  - 劣後債への投資には「弁済の劣後」、「繰上償還延期」、「利息の繰り延べまたは停止」、「制度変更等によって不利益を被る」等の可能性があり、リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.375%（税抜1.25%）
- その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



2021年4月30日現在

### 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)